

1 単元名 人権と日本国憲法

2 目標

- 日本国憲法に定められた平和主義の意義について、興味や関心をもって調べようとしている。  
(社会的な事象への関心・意欲・態度)
- 我が国の安全と世界平和をいかにして実現すべきかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会の在り方について自分なりに考察を深め、自分の言葉で表現できる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 「日本の防衛費の推移」や「日本の防衛年表」など学習に役立つ情報を適切に選択して活用できる。  
(資料活用の技能)
- 日本国憲法が基本的な人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることを理解し、その知識を身に付けている。  
(社会的な事象についての知識・理解)

3 単元の評価基準

社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解
①人間の尊重についての考え方や法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。	①日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見出し、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	①人間の尊重についての考え方や法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	①人間の尊重の考え方や法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的な人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。
②日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛の問題について考える。	②我が国の安全と世界の平和をいかにして実現すべきかについて、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会の在り方について自分なりに考察を深め、自分の言葉で表現できる。	②世界平和に関わる問題に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に活用できる。	②日本国憲法における平和主義の考え方を理解し、前文や第9条の内容を正しく理解している。

4 単元の指導について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領解説社会編〔公民的分野〕(5)のア「人間の尊重としての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われているこの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。」とある。特に、平和主義においては、日米安全保障条約や自衛隊を取り上げ、日本国憲法前文や第9条に定められた願いを理解させるとともに、自衛隊の成り立ちや現状について考えさせたい。そして、日本国憲法前文に述べられている、恒久平和や平和のうちに生存する権利をもち続けるために、将来の日本国を担う主権者として、自分の意見をもつとともに、他者の意見と比較してよりよい国家を築くためにはどうすればよいか判断する力を育てたい。

(2) 生徒観

この単元に関するアンケート調査の結果は下記の通りであった。  
(\*年\*組 男子\*人 女子\*人 計\*人 \*月\*日実施)

①新聞やテレビのニュースで世界の出来事に関心をもって見ているか。 見ている *人 どちらかといえば見ている *人 どちらかといえば見ていない *人 見ていない *人
②授業の中で示された課題を解決するために意欲的に調べているか。 調べている *人 どちらかといえば調べている *人 どちらかといえば調べていない *人 調べていない *人
③資料を読み取り、自分の考えを書くことができるか。 できる *人 どちらかといえばできる *人 どちらかといえばできない *人 思わない できない *人

本学級の生徒は、全体的に明るい雰囲気の中で、社会科の授業への取り組みも意欲的な生徒が多い。アンケートの結果から、時事的な社会的な事象にも関心をもって生活している生徒が多いことが分かる。また、社会科の課題に対して意欲的に調べている生徒の割合は高いが、資料を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができない生徒が\*人いることが分かる。複数の資料を提示し、その資料を適切に読み取り、話し合いを通して思考を深め判断できる力を育てていきたいと考える。

(3) 指導観

指導するに当たり、次の3点について配慮して指導を行いたい。

- ①三大原則について理解し、望ましい主権者としての在り方について考える。
- ②国際社会の変化に伴う今後の日本の課題を探し出す。
- ③平和主義の重要性と国際貢献の面から、将来の日本の望ま

しい平和国家としての姿を考えさせたい。

5 指導計画（5時間扱い）○が本時

次	時	学 習 内 容	主な評価の観点				評 価 規 準（おおむね満足）
			関	思	技	知	
1	1	ちがいのちがい	○				「あってよいちがい」と「あってはならないちがい」をもとに、人権について考えようとしたか。
	2	人権の歴史		○			日本国憲法で保障されている人権を、人権思想の歴史と関連付けながら考察している。
	3	日本国憲法の基本原理				○	日本国憲法の三つの基本原理と、憲法改正の手続きを理解している。
	4	平和主義とはなんだろう				○	日本国憲法における平和主義の考え方を理解し、前文や第9条の内容を正しく理解している。
	5	日本の平和主義への期待		○			憲法9条の内容や防衛に関する資料の分析結果を基に、国内外から期待される日本の平和主義について多面的・多角的に考察し、考えを説明することができる。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

憲法9条の内容と防衛に関する資料の分析結果を基に、国内外から期待される日本の平和主義について多面的・多角的に考察し、考えを説明することができる。

(2) 準備・資料

ワークシート，自己評価カード，プロジェクター，パソコン

(3) 展 開

学 習 活 動 及 び 内 容	指 導 上 の 留 意 点 及 び 評 価
<p>1 前時の復習をする。 憲法第9条の内容確認 ①戦争の永久放棄 ②戦力を持たない ③交戦権を認めない</p> <p>2 教科書・資料集の資料を確認・分析をする。 ①日本の防衛に関する主なできごと ②日本の主な米軍基地 ③日本の防衛費と全体に占める割合 ④集団的自衛権の図解資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習した憲法第9条の条文を確認する。</li> <li>スクリーンに資料を映し出し、読み取りのポイントに対しては、視点を明確にして、生徒と一緒に確認する。</li> <li>読み取りができていない生徒に対しては、机間指導を行い、助言をする。</li> </ul>
<p>憲法第9条と防衛に関する資料から日本の平和主義の課題を考えよう。 日本の平和主義は国内外からどのような期待をされているだろう。</p>	
<p>3 学習課題を確認する。 (1) 資料を分析したことを根拠として、問題点と考えたことをワークシートに書く。</p> <p>(1) 資料を分析したことを根拠として、日本が目指すべき平和主義について考えたことをワークシートに書く。 (2) グループとなり意見交換をする。 ・資料分析をしたことを根拠として、自分の意見を述べる。 ・友達の意見を聞き、参考になることはメモをとる。</p> <p>(3) グループで意見交換をした後、最終的に自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法第9条の内容と防衛に関する資料分析の内容を根拠として記述させる。</li> <li>文末表現を「・・・だろうか」に統一する。</li> <li>机間指導を行い、自分の考えを記述できない生徒に対しては、思考を整理できるヒントカードを与える。</li> </ul>
<p>4 各班から代表者が発表をする。</p>	<p>☆グループ内で各自で考えた問題点をださせ、考えを深めさせる。 ・司会・記録・発表者の役割分担をさせ、話し合いがスムーズに進むように支援する。 ◎話し合いがきちんとされているかを確認し、うまく進んでいないグループへの助言をする。 ・資料で判断したことやグループで話し合ったことを参考に、最終的な自分の主張をまとめるように指示をする。</p>
<p>5 本時のまとめ、次時の学習内容を確認する。 (1) 本時の学習内容をまとめ、自己評価する。</p>	<p>(評) 憲法9条の内容や防衛に関する資料の分析結果を基に、国内外から期待される日本の平和主義について多面的・多角的に考察し、考えを説明することができる。（ワークシート・発表）</p>
<p>日本は、憲法第9条から戦争を起こさないのはもちろんですが、唯一の被爆国であ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめを、自己評価をさせ、次時への見通しを持たせる。</li> </ul>

ということからも、世界の平和のために他国と話し合い、理解を深めることで、世界平和に貢献する必要がある。

(2) 次時の学習内容を確認する。

# 社会科に関するアンケート

☆あてはまるところに○を付けて下さい。

①あなたは男性ですか，女性ですか。

男性                  女性

②日本は平和な国だと思いますか。

平和である          どちらかといえば平和          どちらかといえば平和でない          平和でない

③新聞やテレビのニュースで世界の出来ごとに関心をもって見えていますか。

見ている          どちらかといえば見ている          どちらかといえば見ていない          見ていない

④授業の中で示された課題を解決するために意欲的に調べることができますか。

調べている          どちらかといば調べている          どちらかといえば調べていない          調べていない

⑤資料を読み取り，資料から分かったことを根拠として自分の考えを書くことができますか。

書くことができる          どちらかといえばできる          どちらかといえばできない          できない